



The Rotary Club of
Shizuoka West Dist. 2620 R.I.



静岡西ロータリークラブ会報

- 会長 白鳥三和子
- 副会長 斯波幹和
- 幹事 野木秀明
- 副幹事 宮原伊人

- 例会日：毎週水曜日 12:30
(但し第一水曜日 18:30)
- 例会場：ホテルセンチュリー静岡
Tel 054-284-0111

- クラブ事務所
静岡市葵区追手町 12-12
静岡安藤ハザマビル 5 階
- Tel: 054-254-5611 / Fax: 054-221-0515

第2115回 2020年7月1日(水) 通常例会

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------|---------------|
| ◎司会者 | 幹事 野木秀明君 | ◎開会点鐘 | 会長 白鳥三和子君 |
| ◎ロータリーソング 「西クラブの歌」 | | ◎四つのテスト唱和 | ソングリーダー 中山剛士君 |

出席状況	会員数	出席計算会員数	出席数	欠席数 (無届)	Make up	改定出席率
前々回	32名	30名	23名	0名	0名	76.67%
本日	31名	30名	22名	9名		

- | | |
|---------------------|--------|
| ◎前年度会長 挨拶 | 川崎友和君 |
| ◎前年度幹事 挨拶 | 斯波幹和君 |
| ◎本日のお客様紹介
浜松 R C | 海野育男様 |
| ◎出席報告・スマイル発表 | 中村佳津宏君 |



白鳥三和子君

いよいよ新年度始まりました。皆さま1年よろしくお願いします！コロナに負けず、明るく元気に過ごしましょう。

野木秀明君

本日から幹事ガバーナーです！ 皆様 よろしくお願いします。

榎 一夫君・大橋章男君・満井義政君

白鳥、野木年度よろしくご指導の程よろしくお願いします。本年度一番早いスマイルです。気合入ってます。

山梨 透君

白鳥年度はキリのよい1日からスタート。野木さん、よろしくお願いします。

加藤博一君・北島俊秀君

いよいよ白鳥年度スタートです。今年度は45周年実行委員長です。皆様のアイデアを募集いたします。よろしく。

渡辺憲治君

荒天ですが船出にカンパイ

金原康之君

白鳥会長、野木幹事いよいよ始まりましたね。SAAとして協力します。何でもお申し付け下さい。

会場監督 金原康之

杉山 元君

白鳥年度にボンボヤージュ！コロナなんて吹き飛ばしてハクチョーになれ～！

富田英児君

白鳥、野木年度にスマイル!!

斯波幹和君・沼田時子君・中村佳津宏君

白鳥会長、野木幹事、理事のみなさん楽しく1年間よろしくお願ひします。

宮原伊人君

白鳥会長、野木幹事一年間がんばって下さい。また先週、娘が内定をもらい一安心です。

水元久美子君

白鳥三和子年度おめでとうございます。奉仕プロジェクト委員長と務めます。どうぞよろしくお願ひします。

古株博之君

新年度皆様よろしくお願ひします。出来ることを精一杯やりたいと思います。先ずは出席率アップ。

中山剛志君

新会員の中山でございます。皆様どうぞよろしくお願ひします。

◎新役員挨拶

会長 白鳥三和子君

所信表明

昨年度後半は、コロナ下で、難しい判断をされてきました、前年度会長川崎君に敬意を表しますとともに、労をねぎらいたいとおもいます。ありがとうございました。

いよいよ2020-2021年度が始まりました。昨年度は休例会が続き、不完全燃焼を感じられている方も多いのではないでしょうか。その分のエネルギーを、ぜひ、白鳥年度のご活躍へと注いでいただければありがたいです。

さて、2020-2021年度R I会長ホルガー・クナーク氏は、ロータリーは「機会の扉を開く」とテーマを掲げ、ロータリーは「不变的な中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。」と述べています。



コロナという未曾有の世界的な困難の中ではありますが、だからこそ、私たちロータリアンが機会の扉を開き、社会の中にあって希望を与える存在であり続けたいと思います。

そこで本年度は、重点項目として以下の3つを掲げさせていただきます。

1. 例会への参加を多様化させるため、オンライン参加を奨励する
2. 戦略計画委員会を組織し、3~5年後のクラブのあり方を検討する
3. 45周年事業に全会員で汗をかく。

オンライン参加については、既に当クラブの定款第8条第1節(a)において、認められています。まだ、定款規程を確認したことのない方もいらっしゃると思いますので、ぜひ、この機会に確認してみてください。

本年度においては、まず、例会場には来れないけれども、例会の時間だけは確保できる方の参加を促します。イメージをいたしましては、毎月の出欠連絡票に「出席」「欠席」のほか「オンライン出席」という欄を設け、オンライン(リモートともいう)で出席していただくようにしたいと考えています。例会場のスクリーンにはオンライン出席者の映像が映し出され、相手方には、この会場が映し出される。これだけで、随分と出席率が上昇するのではないかと期待しています。

会場の設営をするクラブ運営委員会の皆様には、ご準備や運営にご苦労をおかけいたしますが、ぜひ、出席の機会の扉を開いていただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。当初は、うまくいかないこともあると思いますが、より良き方向に進めるよう、まずは、やってみましょう。

次に、本年度の一大行事として、45周年事業があります。対外的に大々的にやるのではなく、じっくりと内々で実施したい、記念事業、記念例会、記念旅行、記念誌編集とほんやりと描いていますが、コロナもあって具体的には何も決まっていない状況です。ただ、会員全員が汗をかく事業であってほしいです。

私の希望を受けて、委員長の加藤さんは、頭を悩ませていると思いますが、だれ一人欠けることなく、ともに汗をかいて、絆を強めるとともに、よき思い出としてまいりましょう。

戦略計画委員会は、昨年度からR Iにより設置が推奨され、当クラブでも一定の戦略計画を立案はしているところではあります。当年度は、先般の理事会で、臨時の委員会として承認されました。

委員会のメンバーは、計画と目標の25ページに記載の通りですが、現会長・幹事の私と野木さん、委員に前年度会長の川崎君、次年度会長の斯波さん、そしてロータリー歴は浅いけれども今後の活躍に期待できる若手と、お目付け役に満井研修リーダーという構成にさせていただきました。

この委員会では、3~5年後のクラブのあり方を考えて、そのための行動計画を文書化します。戦略計画には、当クラブ独自の青少年育成会基金の使い道を検討することも含まれます。

戦略計画委員会で検討した事項は、会員の皆様に公開してまいりますので、危ういところは、ベテラン会員の皆様のご指導を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

会員増強・維持委員会へのお願ひです。

荻原ガバナーより、先般お電話をいただきまして、増強・増強と肩に力を入れず、今はご自身や家族、会社・従業員の生命を最優先に、できることをしていくください、とのことでした。もちろん、これだけ会員が減

少した中で、増強は重要な課題ですが、私は会員の皆様の心がロータリーから離れてしまうことが心配です。

そこで、あらためてオリエンテーションの機会を作っていただきたいです。新会員と制限せず、歴の浅い会員、歴があるても、もう少しロータリーを知りたいなと思う方へも機会の扉を開けていただきますようお願ひいたします。また、富田委員長から声がかかりましたら、ぜひ、応えて行ってください。オリエンテーションの実施が、戦略計画にも生きてくると思っています。

公共イメージ向上委員会へのお願いです。

第3グループの会長幹事会において、グループ内の交流を活発にするために、各クラブの卓話者を公開して欲しい、できれば、各クラブのホームページで公開していただきたいとのお話をいただきました。大変お手数ですが、行事予定の公開にあわせて卓話者も公開していただきたく、お願ひいたします。ホームページを、最新情報に常に更新していくことは大変な手間暇と存じますが、杉山委員長はじめ、委員の皆さん一丸となって、必要な場合には、他のメンバーにも手伝ってもらって、進めていただきたくお願ひいたします。

ロータリー財団・米山委員会へのお願いです。

私たちは、毎年、会費の支払いと合わせて、ロータリー財団や米山記念奨学会への寄付を行っています。私は、入会して何年かは、会費の中に寄付金があることを自覚していました。寄付したお金がどのように使われているのか、自覚してやらせていただく方が、達成感ありますよね。

そのあたり、渡辺委員長はじめ財団・米山委員会の皆様で、しっかりと会員へお伝えいただきたく、よろしくお願ひいたします。

奉仕プロジェクト委員会、青少年育成特別委員会についてです。

青少年育成特別委員会は、当クラブ独自の特別委員会であり、皆様ご承知の通り、独自の活動=現在は歯車塾=を行っています。委員は全会員となっていますが、活動内容が、奉仕プロジェクトの青少年奉仕と重複することもあり、奉仕プロジェクトのメンバーも一体となって活動することで、より効果的・効率的に活動できるのではないかということで、本年度は、奉仕プロジェクト委員会の青少年奉仕担当副委員長と、青少年特別委員会の委員長を兼務していただくことになりました。あくまでも、青少年特別委員会のメンバーは、全会員となりますので、よろしくお願ひいたします。

地区運営方針では、ノブレス・オブリージュの自覚のもと、奉仕活動は、選ばれし者の義務であると掲げられています。それぞれの得意分野や個性を生かして、積極的に奉仕活動にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

本年度は31人でのスタートとなりました。コロナの2波3波も予想される新たな日常の中で、淡々とではありますが、できることの機会の扉を開き、ロータリーの在り方を模索できる一年とさせていただきたいです。

皆様、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

副会長

斯波幹和君

幹 事

野木秀明君

会員増強・維持委員会

富田英児君

奉仕プロジェクト委員会

水元久美子君

ロータリー財団・米山委員会

渡辺憲治君

青少年育成特別委員会

山梨 透君



◎閉会の点鐘 白鳥三和子君

